

令和2年9月25日

阪神高速技術株式会社
神戸市立工業高等専門学校

阪神高速技術株式会社と神戸市立工業高等専門学校との

連携協力に関する協定締結のお知らせ

阪神高速技術株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：立石 泰三）と神戸市立工業高等専門学校（学校所在地：神戸市西区、校長：末永 清冬）は、令和2年9月24日に連携協力に関する協定を締結しましたのでお知らせします。

【協定の目的】

高度経済成長期に建設された高速道路を含む社会インフラは、高齢化を迎え笹子トンネル天井板落下事故に象徴されるように老朽化が進んでいます。これを受け、道路構造物では、5年に1度の定期点検が義務づけられ点検体制の強化が必要になると共に、増加、多様化する損傷へ対応するため補修体制の強化も喫緊の課題となっています。また、これら維持管理体制の強化を実現するためには人的資源のみではなく、データ分析や最新技術の活用など知的資源の拡充も求められています。

そこで、今般、阪神高速技術株式会社と神戸市立工業高等専門学校は、連携協定を締結し、人的・知的資源の交流や協働による調査研究などを図ることとしました。

学生への教育の一環として、阪神高速道路でのインターンシップ機会提供や見学会などを行うことにより、高速道路の構造物や情報提供施設、トンネル換気設備等の維持管理の現場を直接肌で感じ、学校で学んでいる科目への興味や理解を深めるとともに、道路事業が置かれている現状を知ることにより、社会におけるエンジニアとしての将来像を意識して、より実践に強い人材を育成することの一助にすることを目的としています。

また、年に数回程度、両者で意見交換会を企画し、維持管理の現場における課題やニーズを共有し、課題解決に向けた提案や最新の技術にかかる共同研究に取り組み、人的資源や知的資源拡充の一助にすることも目的としています。

【連携協定する事項】

1. 人的・知的資源の交流
2. 協働による調査研究及び事業の実施

3. それぞれが主催する事業に対する協力・支援
4. その他上記の目的を達成するために必要と認める事項

【調印式の様子】



※写真（左）：阪神高速技術（株） 立石社長、写真（右）：神戸市立工業高等専門学校 末永校長

問い合わせ先

阪神高速技術株式会社 経営企画部 経営企画課
課長 村上 陽二郎
電話：06-6110-7200（代表）
FAX：06-6110-7201
メールアドレス：yojiro-murakami@hex-eng.co.jp

神戸市立工業高等専門学校
研究担当副校長 道平 雅一
電話：078-795-3311（代表）
FAX：078-795-3314
メールアドレス：office-plan@kobe-kosen.ac.jp

以上